

氏名	清水 新悟	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	義肢装具学 スポーツ工学 動作分析				
学位	博士（学術）				
学歴	名城大学博士前期課程修了 名古屋大学博士後期課程単位取得後満期退学 名城大学博士論文修了				
経歴	医療法人三仁会（平成15年4月～平成26年3月） 北海道科学大学（平成26年4月～令和4年3月）				
所属学会（役職）	日本義肢装具学会（正職員） 日本理学療法学会 日本スポーツ整形外科学会 日本膝関節学会 臨床スポーツ医学会 日本靴医学会 日本足の外科学会 日本義肢装具士協会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	NiTinol外反母趾矯正装具の開発についての検討	共著	あり		POアカデミー ジャーナル32, No. 1 pp96-99	清水新悟 田中亜矢子 小川明	2025年7月
2	足部アーチが足の浮き趾に及ぼす影響	共著	あり		靴の医学 Vol.38 (2) . pp.1-4	清水新悟 加藤幸久	2025年7月
3	新たな概念を備えた外反母趾外反回旋矯正器具の即時効果	共著	あり		日本義肢装具学会誌 42巻1号.pp.43-46	清水新悟 小川明 田中亜矢子 花村浩克 熊井司	2026年1月
4	Examination of Reference Values for Flatfoot, Splayfoot, and Hallux Valgus Using Morphometric Measurements Without X-rays	共著	あり		International Journal of Physical Therapy & Rehabilitation. Volume 11. pp1-6.	Shingo Shimizu Hirokatu Hanamura	2025年11月
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	変形性膝関節症に対する外旋制動型膝サポーターの開発	共同	第41回日本義肢装具学会学術大会（新潟） p p 188		○清水新悟、中島駿、竹内大樹、日高宏一郎、三浦亜吏紗、犬塚俊裕		2025年11月
2	新しい足底挿板療法 DAインサートの紹介と有効性	共同	第41回日本義肢装具学会学術大会（新潟） p p 209		○清水新悟、渡邊充、宮川拓也、花村浩克、岩堀裕介、熊井司		2025年11月
3	中足骨パッドと楔状骨パッドが足部縦アーチと下腿三頭筋に与える影響	共同	第12回日本スポーツ理学療法学会学術大会（札幌） pp151		○清水新悟、菟場希来里、縄野美羽、大日方桃姫、河上彩花		2025年12月
4	新概念を備えた外反母趾外反回旋矯正器具の3か月効果	共同	第14回日本支援工学理学療法学会学術大会 pp.0-02-2		○清水新悟 小川明 田中亜矢子 花村浩克 熊井司		2025年12月
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	奨励研究費A	新概念を備えたマルチ膝サポーターの開発	研究代表者	2025年4月～2026年1月
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	義肢装具学	○	8	義肢装具の名称や機能、適応を基礎を中心に学び、切断の評価からリハビリテーションを理解できるように工夫した。
2	義肢装具適合支援学	○	8	アライメントの理解から義肢装具への応用、特に足部を中心に理論から評価を学び、実際に行えるように工夫した。
3	IPW論		15	地域連携を意識し、チームワークを大切にできるように工夫した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	基礎運動学演習		2	姿勢制御について人の重心を理解し、転倒しないように身体が反応するシステムや関節モーメントを学ぶことで立位姿勢の保持を理解できるように工夫した。
2	臨床運動学演習		12	脳卒中片麻痺の歩行動作と大腿切断の義足歩行動作を見て動作分析を行った。2種類の歩行を確認し、その違いを述べられる様に行った。
3	理学療法セミナー1		3	臨床教育実習に学生が行く前の評価のテストである。
4	理学療法セミナーⅡ		3	臨床教育実習に学生が行く前の理学療法のテストである。
5	理学療法学研究法演習		1	どんな研究を行っているのか、選択科目義肢装具適合支援学の内容などをスライドを使用して説明を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	義肢装具学実習	○	23	実際に切断者を評価し、切断リハビリを理解する。また模擬義足を装着しての義足歩行練習なども取り入れることで義足歩行の難しさを体験する。
2	日常生活活動指導実習		18	福祉用具などを施設に行って実際に見たり触ったりして体験するように工夫した。
3	義肢装具学実習（OT学科）		3	作業療法学科に義足と切断の評価方法と模擬義足体験の実習を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2025.11	主指導 4名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オープンカレッジ	地域連携	扁平足の落とし穴	Sep-25
2	オープンカレッジ	地域連携	運動機能を向上させるインソールパッドの体験	Aug-25
3	臨床実習地講習会	学科	DAインサート 初級コース	Aug-25

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉産業保健総合支援センター	相談員（トータル・ヘルスプロモーション・プラン担当）	なし
2	日本義肢装具学会	正職員	なし
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	倫理委員会にて研究の倫理審査を行う	2025.4～2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	地域連携センターの委員として活動を行う	2025.4～2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		